

## 公園内の市民利用施設について

- Q: 公園内の市民利用施設について、施設の改善、改修について伺う。  
 岩槻区内の公園には川通公園球場、岩槻城址公園球場があり、それぞれ平成16年、昭和42年の埼玉国体で使用されている。双方、経年をしており大・中規模改修が必要な時期に入っている。
- ① 川通公園球場においては、改修に取り掛かっていただいているが、照明灯の球切れが進んでおり夜間の使用に支障をきたす。この、照明灯の改修について見解を伺いたい。
  - ② 城址公園野球場においては、大規模改修をしてもいい時期になっているが、当該地が県の指定史跡になっているため、再建築等が困難な状況にある。諸団体からの要望を受け、どのような修繕、対処をするのか考えをお聞きたい。
- A: ① 川通公園野球場につきましては、部分的な修繕、改修に向け、令和4年度から順次工事に着手できるよう、設計に取り組んでいる。利用者や周辺の安全面を考慮し防球ネットの設置、段差解消等の対応を優先しているが、現70%しか点灯できない照明灯も、灯部のLED化を含めた改修について、設計及び改修を進めていきたい。
- ② 岩槻城址公園の全面改修につきましては、当該地が埼玉県指定史跡の岩槻城址に指定されており、現状変更が原則困難な状況にある。一方、築58年となっており老朽化も進んでいるので、利用者の声を聞きながら修繕を行うと共に、安心安全に施設が利用できるように、必要に応じて全体的な施設の老朽化対策も検討していく。



## コミュニティバス・乗り合いタクシー・デマンド型交通について

- Q: ① 交通空白地域等の解消に当たり、コミュニティバス等導入ガイドラインに基づいて公共交通の補完するものが運行されているが、道路幅員が狭いなどコミュニティバスが運行できない場所も多くある。コミュニティバスを乗り合いタクシーに変える、コミュニティバス自体を小型化するというような考えはあるのか。またAIデマンド交通も有効と考えるが利用はできないのか。
- ② 岩槻区の小溝地区は春日部市との市境にあり、春日部市が生活圏になっている方も多くいる。春日部市には、春バスというコミュニティバス、市が補助した交通手段がある。他市との連携、春日部市との連携等も考えて運行の検討ができないか。
- A: ① 市民からの要望に応じて、コミュニティバス等導入ガイドラインに基づき、コミュニティバスを活用した運行改善、また乗り合いタクシー等の新規導入を進めているところである。しかし、コミュニティバスで運行改善をしたケースでも、道路幅員が狭いなどの理由から、車両が通行できない一部の地域が存在し、交通空白地区等が残された地区がある。そのような地域への対応としては、コミュニティバスの車両より小型なワンボックス車を活用した乗り合いタクシーやAIデマンド交通の導入が有効と考えるが、利用者の需要や地域特性、費用対効果を十分に勘案する必要があると考えている。
- ② 市境での他都市との連携について、岩槻区小溝地域では、隣接する春日部市がワンボックス車を利用したコミュニティバスを走らせている。そのため、春日部市と連携して交通空白地区等を解消する方策については、非常に有効な手段であると考えているので、早速に協議を開始していきたい。

チョイソコさいたま「柏崎」「美幸町」地区 10/1より週4日(月・火・木・金)ご利用可能になりました!

## 乗り合い送迎サービスのしくみ

